

平成25年度 土木学会全国大会2013 (日本大学生産工学部津田沼キャンパス)

全国大会映画会テーマ：大会特集「土木が築いた今日と、切り拓くべき未来」
災害・防災・地域・時事特集

● 映画会・上映スケジュール

日程：2012年9月4日 場所：37号館 1F 101教室
9月5・6日 場所：37号館 8F 803教室

※1日目と2・3日目の開催場所が違いますのでお気を付け下さい。

作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年
—		10:10		開会のご挨拶 土木技術映像委員会委員長 大野春雄	
1	9/4 (水) 大会特集「土木が築いた今日と、切り拓くべき未来」	10:15	7分	勝関橋 土木学会選定映像 土木学会制作の貴重映像「勝関橋」が発見されました。昭和15年完成直前の跳開を映した5分36秒のモノクロ無声映画で勝関橋が徐々に開いていき、大型船舶が通航するシーンなどが克明に映し出されています。	1940年
2		10:22	58分	日本の近代土木を築いた人びと 第20回映画コンクール会長特別賞 明治の新时代、土木技術、建設工学における近代化の先駆者となった若者達の活躍を描いた作品です。(鉄道の井上勝、琵琶湖疏水の田辺朔郎、土木行政の古市公威、淀川改修の沖野忠雄、小樽築港の廣井勇)	1987年
3		11:20	27分	余部鉄橋の記憶 第23回映画コンクール部門賞 (一般部門) 100年もの間日本海の厳しい風雪に耐えてきた鉄橋の歴史を主軸に、そこに展開された人間ドラマや四季折々の美しい映像を織り交ぜながら、余部鉄橋の有終の美を貴重な土木遺産として記録・表現した作品です。	2007年
4		11:47	20分	余部橋りょう さらなる100年へ 第24回映画コンクール最優秀賞 2007年3月着工後、過酷な自然環境のもと、営業線を運行しながら新橋を構築し、2010年8月12日に新たに生まれ変わるまでの工事の記録です。	2010年
5		12:07		お昼休み&お宝映像	
—		12:40		ご挨拶 土木技術映像委員会	
6		12:45	18分	荒川放水路物語 —川がはくくむ暮らしと文化— 第20回映画コンクール最優秀賞 荒川放水路(現在の荒川)は、流域を洪水から守るために作られた人工河川です。放水路が治水経済効果の一面である事、インフラ(土木)の整備が流域の文化を育んだことを訴えています。	2002年
7		13:03	67分	名神高速道路 土木学会選定映像 名神高速道路の計画から設計、施工までの建設工事記録です。	1964年
8		14:10	43分	松原下釜ダム 第5回映画コンクール最優秀賞 「蜂の巣城の戦い」として異名をはせた九州の松原・下釜ダム建設の公共土木事業を、地域住民との関連においてとらえ、その関わり合いを長期間にわたって記録した特異な作品です。	1972年
9		14:53	47分	青函トンネル 第12回土木学会コンクール最優秀賞 青函トンネル工事の調査時より開業に至るまでを紹介する作品です。	1988年
10		15:40	30分	ある碑 —巨大吊橋を支える— 第15回コンクール最優秀賞 世界最大の橋梁基礎、明石海峡大橋の神戸側の橋台1 Aアンカレッジの施工記録を紹介しながら「土」という名の大自然が秘める知られざる世界を描く作品です。	1992年
11	16:10	10分	Kensetsu FILMS vol.0 歴史をつくる、未来をつくる。それが建設。 土木学会選定映像 建設には古くから時代と共に歩んできた歴史があります。変わり行く時代の中で、その役割を変え、人々の生活を支えてきました。これからの建設が向かう方向や可能性を伝えます。	2010年	
—	16:20		第1日目 終了		
作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年
—		10:10		ご挨拶 土木技術映像委員会	
12	9/5 (木) 災害・防災特集	10:15	19分	関東大震災と世界の友情 土木学会選定映像 関東大震災の復旧に際して世界各国からの援助の手が差し伸べられました。当時の古い映像記録をもとに構成され国際的な救護・援助体制の必要性を訴えている作品です。	1992年
13		10:34	32分	昭和49年(1974年) 多摩川狹江市猪方地先 災害復旧記録 土木学会選定映像 大規模な堤防決壊災害の発生に際し、どのような対応が図られ実施されたかの事実を詳細に記録した作品です。	2005年
14		11:06	50分	東日本大震災、現場の戦い 土木学会選定映像 「啓蒙」「地域支援」「防災教育」の現場の映像から構成しています。現場の土木技術者・従事者の決断と戦い、緊急時の組織の姿、持続的な防災教育の重要性を撮影した貴重な映像であり、次代への財産として残したい作品です。	2011年
15		11:56	47分	液状化との闘いを越えて —浦安、被災730日のドキュメント— 土木学会選定映像 浦安市の埋立地域は市域の86%にも及ぶ範囲に液状化の甚大な被害を受けており、当作品には市民の撮影映像も含め、液状化とその復旧復興対策の貴重な記録が含まれています。	2013年
—	12:43			第2日目 終了	
作品No	上映日	上映開始時間	上映時間	上映作品	制作年
—		10:10		ご挨拶 土木技術映像委員会	
16	9/6 (金) 地域・時事特集	10:15	25分	富士山を測る 第16回映画コンクール準優秀賞 山麓の水準点から、1区間20m~30mの高低差を測定し富士山頂に50日間かけて登っていく姿はとて美しく、雲海の風景と相まって感動のシーンが続きます。	2007年
17		10:40	17分	High Performance Railway TUKUBA EXPRESS 土木学会選定映像 21世紀を念頭に置いた都市高規格鉄道「つくばエクスプレス」のコンセプトと心意気が感じられる歴史的な意味のある作品です。	2010年
18		10:57	30分	首都高速道路を守れ —疲労き裂対策3000日の軌跡— 第23回映画コンクール部門賞(技術映像部門) 総延長283km(2005年現在)の首都高速道路の鋼製橋脚において1997年に500基を超える多数のき裂が発見されました。以降8年間に渡る金属疲労き裂に対する補修・補強対策を克明に記録した作品です。	2008年
19		11:27	26分	技術を継ぐ —東京ゲートブリッジ橋梁上部築造工事記録— 土木学会選定映像 当作品では特殊な橋梁施工において、特に橋梁の地組、溶接の方法、フローティングクレーンの一括架設が詳細に記録されています。	2011年
20		11:53	7分	Kensetsu FILMS vol.4 東京国際空港D滑走路建設工事 土木学会選定映像 建設業界が総力をあけて取り組んだ一大プロジェクト「D滑走路建設工事」が与えてくれたものを、そこに働く人々の生の声を取り上げ、リレー形式で紹介しています。	2008年
21		12:00	9分	Kensetsu FILMS vol.2 —地下の大動脈—シールド工法— 土木学会選定映像 当時建設中の首都高速中央環状線でのシールド工法の重要で難しい仕事に従事する土木技術者の仕事のやりがいや、喜びを紹介しています。	1995年
22		12:09	7分	勝関橋 土木学会選定映像 土木学会制作の貴重映像「勝関橋」が発見されました。昭和15年完成直前の跳開を映した5分36秒のモノクロ無声映画で勝関橋が徐々に開いていき、大型船舶が通航するシーンなどが克明に映し出されています。	1940年
—	12:16			第3日目 上映会終了	
—				研究討論会「土木学会東日本大震災アーカイブサイトの現状と課題」 会場：37号館 3F 303・304教室	
—	12:40			座長 大野春雄(東日本大震災アーカイブ特別委員会副委員長・土木技術映像委員会委員長) 話題提供者：高橋広行 土木技術映像委員会(東京都立田無工業高校) 三上 卓 土木図書館委員会・元地震工学委員会津波避難調査小委員会幹事長(公財)地震予知総合研究所 佐藤翔輔 東北大学みちのく震録伝(東北大学災害科学国際研究所)	
—	14:40			第3日目 終了	